

3 きょうどのためにつくした人々

📖 きょうど発てんのためにつくした人には、どんな人がいるでしょうか。

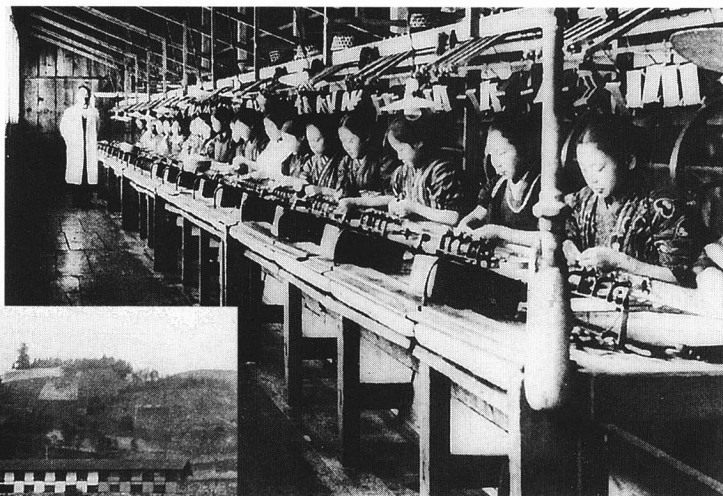


やま だ おさむ
〈山 田 脩〉 (1841年～1921年)

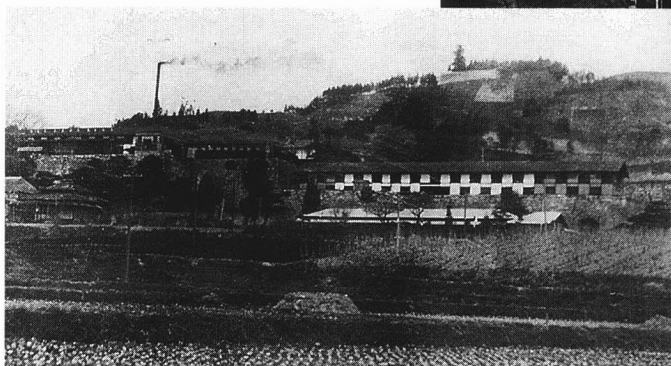
かすみ がじょう
霞ヶ城公園内に二本松を見守るかのように立つどうぞうは、
せいしぎょう
「製糸業の父」とたたえられ、わが国で初めての民間きかい
せいし
製糸工場をつくった山田脩です。

脩は、二本松藩士の子として生まれ、1873年、二本松製糸会社をつくるのに参加し、アメリカに支店をつくるなどして大成こうをおさめました。1885年、二本松製糸会社をやめ、わが国初の民間きかい製糸工場「双松館」をつくり、製糸業発てんのための研究と努力をしました。

また、町民にのぞまれ、第3代の二本松町長にもなり、二本松発てんのためにつくすとともに、学校をたてるためや火事で家をなくした人を助けるためにたくさんの寄付をしました。のちに「八幡様か山田様か」とたたえられたほど、町民にあいされました。



そうしょうかん
双松館の工場内のような



そうしょうかん
明治33年にたてられた双松館製糸場



二本松の出身で、世の中の人のためにつくした人を調べましょう。